



商工会の目的は企業の繁栄と地域の発展です。
ご活用下さい。あなたの街の商工会
<https://www.namazu.or.jp/>

商工会からのお知らせ

法改正情報

【受動喫煙防止研修会】

(日時) 令和4年2月10日(木) 14時~15時30分
(会場) 草加市文化会館3階第3会議室
(1)「受動喫煙対策に係る健康増進法のポイントと健康への害」
(講師) 国立がん研究センターがん対策研究所室長 平野公康氏
(2) 保健所に寄せられた受動喫煙に関する住民の声
(3) 埼玉県受動喫煙対策について「条例・認証制度」
(講師) 草加保健所 保健予防推進担当職員
(対象) 飲食店…先着31名
※各施設ごとの申し込み
【期間】 令和4年1月1日~1月28日
【主催】 埼玉県草加保健所
電話 048-925-1551



申込はコチラ
埼玉県電子申請システム

【インボイス制度の導入】

令和5年10月1日から「適格請求書等保存方式(インボイス制度)」が導入されます。適格請求書発行者(登録事業者)のみが適格請求書(インボイス)を交付することができます。年間売上1,000万円未満の事業者でも、得意先との取引において課税事業者を選択する必要がある場合があります。
※課税事業者が発行する請求書は

各種ご案内

いと、得意先は仕入税額控除が出来なくなる為。詳しくは国税庁の特設サイトを正確に確認して下さい。
特設サイト

【専門家派遣制度】

商工会では経営革新に取組む会員企業を応援し、経営革新計画書の作成支援として、中小企業診断士を派遣する制度を利用できますのでご相談下さい。

【日本政策金融公庫】

融資の申込みが、24時間インターネットから申込できるようになりました。

【新年賀詞交歓会 中止のお知らせ】

令和4年1月に開催を予定しておりました「新年賀詞交歓会」につきまして、未だ新型コロナウイルスの感染拡大が収束していないことから、会場されます皆様の健康と安全を第一に考慮し、大変残念なご事情はありますが、開催の中止を決定いたしました。
例年ご来場いただいております皆様には誠に申し訳ございませんが、何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

新年のご挨拶



会長 田村 正夫

新年あけましておめでとうございます。令和4年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶申し上げます。会員の皆様方にはご家族お揃いで、新たな希望を胸に穏やかな新年をお迎えになられたことお喜び申し上げます。私は昨年商工会総代会において会長の大任を仰せつかり初めての正月となります。年頭にあたり商工会のささやかでも確実な前進飛躍を目標とし、皆様方の意見を聞き逃さず会員の有意義かつ有益な活動にしたいと思っております。つきましては皆様のご協力ご支援をお願い申し上げます。

緊急事態でした。最近の感染状況は、ずいぶん減少に向かっています。経済という言葉の意味を再認識し、経済活動の力と重要性を再認識させられた1年でした。数限りない負のサイクルの中で、ティクワウトやデリバリー、リモートワークの普及等考えられてきました。ゆえに、今年は経済正常化に向けた経済活動の浮き沈みは大きくなることを考えます。それを乗り切るために、商工会の活動が重要になるのではないのでしょうか。例えば昨年、商工会有志の方々を中心に企画された「ティクアウト専門の臨時販売所」は、販売協力、会員の購買協力も有り商工会の意義を示しました。商工会と致しましては、会員事業者の皆様の「コロナ被害により直面する課題の解決を図る為、様々な支援をきめ細やかに且つ迅速に取り組みで参りたい」と考えております。経営者に寄り添う伴走型の支援を通じて、元気をお届けできるように、また地域経済活性化への環境作りも進め、関係機関との連携を図り、地域総合経済団体として頼りにされる商工会を目指し、地域経済の発展と、中小企業・小規模事業者の活性化に努めて参ります。結び、会員の皆様にとって、輝きと飛躍に満ちた年となりますことを願いつつ、共に役職員一同一丸となって「元気な吉川市商工会」を目指してまいりますので会員皆様方のご支援ご協力を心からお願い申し上げます。ごあいさつさせていただきます。

あしがき

五月の役員改選により、一期末の理事を務めることになりました石井和也と申します。今回、企画委員会の委員長を仰せつかることになりました。改めて皆さまよろしくお願致します。

この企画委員会の大きな役割として、広報事業があり、その中で「会報の発行」がメインの仕事となります。前任の田口委員長から引継ぎ、今回、吉川市商工会報第三号として、紙面を大幅リニューアルしました。そして、会報のタイトルも「あきんど」としてスタートすることになりました。「あきんど」は漢字で書くと「商人」と書きます。とすると、商工会報なのに商業のことだけをピックアップしているように思われる方もいらっしゃるかと思います。吉川は古くからの料亭もあつたり、宿場町であつたことから、こかく商人の町と思われがちですが、工業や建設業などの企業も多数あります。その工業においても建設業においても、作った物を取引する際には、必ず「商い」が発生しており、そういった意味でどのような事業者であっても「あきんど」の心は持たれていなければならないかと考え、あえて「あきんど」というタイトルにさせていただきました。

「商人」という思いつくのは、「近江商人」。近江国(今の滋賀県)は、京都に近く古くから交通の要所とされてきました。戦国の世では織田信長が「楽市楽座」を制定し、商業がとて活発となりました。その近江商人の経営哲学として有名なのが、「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」の三方よしの理念。今こそこの理念を思い返し、吉川市全部の事業者が三方よしになれるよう、商工会の「理事」として頑張りたいと思っております。

理事メンバー紹介

本年もよろしく お願いいたします



- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|---------|----------|----------|----------|----------|---------|----------|----------|---------|----------|----------|----------|-------|----------|----------|----------|---------|----------|----------|---------|----------|----------|----------|-------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 上段右より | 理事 佐藤 竜太 | 理事 佐藤 幸男 | 理事 齋藤 幸彦 | 理事 増田 泰一 | 理事 河野 一貴 | 理事 生田 一三 | 理事 木村 賢一 | 理事 互 英樹 | 理事 首藤 靖記 | 理事 永瀬 賢一 | 理事 中里 哲也 | 理事 阿部 義行 | 理事 恒川 博 | 理事 小澤 康雄 | 理事 小林 保広 | 理事 山崎 満 | 理事 鳴山 俊悟 | 理事 金子 晴美 | 理事 石井 和也 | 中段右より | 理事 石井 和也 | 理事 金子 晴美 | 理事 鳴山 俊悟 | 理事 山崎 満 | 理事 小林 保広 | 理事 小澤 康雄 | 理事 恒川 博 | 理事 阿部 義行 | 理事 中里 哲也 | 理事 平野 嘉夫 | 下段右より | 理事 松澤 秀治 | 理事 松澤 鈴子 | 理事 田口 政博 | 理事 田口 政博 | 理事 高橋 紘生 | 理事 小林 政夫 | 理事 中村 光一 |
|-------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|---------|----------|----------|----------|----------|---------|----------|----------|---------|----------|----------|----------|-------|----------|----------|----------|---------|----------|----------|---------|----------|----------|----------|-------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|

(敬称略)

株式会社 大倉

代表 岡田 祥一

今回は平成30年2月の承認企業である(株)大倉さんへ取材に行きました。

今回は平成30年2月の承認企業である(株)大倉さんへ取材に行きました。会社は二合半水路沿い、保公園の近くにあり、加工工場です。



めつきは漢字で書く「鍍金」と書き、材料の表面を数ミクロンの薄い金属の皮膜で覆う表面処理の方法で、装飾、防食、表面硬化、機能付与など目的は多様である。(株)大倉さんはめつき業の中でも「亜鉛ハレルメつき」に特化し、ネジ(短尺)やナースなどを大量に加工している。

現在の社長は3代目、今年で73年目になる。経営革新計画に取り組みきかけを聞く。「新しい技術に対応した設備の導入・運用が目的でした。このことでそれに伴う補助金の申請も視野に入れていたのです。」

「めつきの業界はなかなか革新的な技術と難しいです。…ものづくりの中でも下流に位置するので単価も安い。でも付加価値の高い加工が出来れば差別化が出来て利益に繋がると思っています。」と悩まされながら「期待を語ってくれました。」計画書の作成には、商工会の専門家派遣制度を利用し、専門家のアドバイスを受けた。事業の5カ年計画を立てた。

「現実にはなかなか計画通りには進めることが出来ず、研究と挫折を繰り返しながら。継続しなきゃいけないんです。」という大倉さんの自然災害や法改正への対応と人材確保、特急案件もありました。(笑)でも、会社の将来を考えると「どこで計画作成の時間を作り、進むべき道を示さなければいけません。」

経営が常に平時に続くわけではない。目の前には変化に対応しながら計画を進める。根気が必要です。「計画書を作る中で頭の中が整理でき、やるべきこと・優先順位・資金計画・組織・利益・期日が重要であることが実感しました。」と前向きな意見をもらっています。



お話を聞かせてくれた(株)大倉 岡田祥一社長(写真中央)と加藤裕次郎社長(写真左)。必要になります。

「今後は、有給100%消化、給与のペーパリング、など、会社の皆が笑顔で働きやすい職場を実現したいと思っています。」と、目を輝かせて話してくれました。様々な課題に気づき、それを抱えながら「変えていこう」とする姿勢は、まさに経営革新であり、売上アップや生産性の向上だけが目的ではない、現状分析から始めることに意味があると考えさせられました。キビキビと動くスタッフを見たときは、社長はいつも笑顔だけど本当はあつた。社長はいつも笑顔だけど本当はあつた。社長はいつも笑顔だけど本当はあつた。

DATE

株式会社 大倉

埼玉県吉川市平沼1-5-10

048-982-6361

Check it!

<http://okuramekki.com/>

会員紹介

人生の最後を見届ける仕事

かたづけや本舗 加藤社長に聞く

加藤社長は現在72才。元々機械部品の製造業であった加藤製作所をたたき、リサイクル業を本格化する方たちで30年前にわたづけや本舗を開業した。現在は社員2名とバイト4名で運営している。今回、平日の昼間に総勢15名でお邪魔しお話を伺った。

開業当時また、遺品整理業という業種はなく、加藤社長が先がけてまさに手探りで作り出したものだ。ホームページを作り営業を開始。地元のみならず、関東一円を受け持ち徐々に事業を拡大していった。



お話を聞かせてくれたかたづけや本舗 加藤裕次郎社長

相場がなく、加藤社長がホームページに提示した価格が業界基準にならなければならぬ。しかし、お話を伺うとその仕事内容は生々しいものであった。一人暮らしの方だけでなく、遺品整理としてお伺いする方も多くある。生半可な覚悟は出来ない仕事であることがひしひしと伝わってきた。

「東京大田区で元女優さんの遺品整理もやっています。」

「若い頃の雑誌がいろいろ出てきて、私は知らなかったけど結構有名な女優さんだ。結構「一人暮らしの男性の遺品整理では押し入れから春画のレリションが出てくるんですよ。」

「長年の遺品整理のノウハウが次から次へと聞けた。これと現金が手に入ることも多いのよ。これまでに見つけた総額は100万円以上かな。」

「ただ、その家族に返すお金は必ず家族に返すわけ。それは自分の中で決めているんですよ。」

「長く続けたいられた信用をいんな所にも感じています。」

「生前に綺麗好きの人ほど、最後がゴミ屋敷になることが多いかも。生前からゴミを積み重ねてきたので。」

かたづけや本舗

(有加藤製作所)

代表 加藤裕次郎

吉川市富新田32-1

048-982-0886

<https://katadukeya.jp/>

理事紹介



理事 生田 貴之

青年部は今年で卒業ですが、これからは理事として商工会を盛り上げ、この街の皆さまに恩返しをしていきたいと思っています。つぎはぜひお願ひいたします。



理事 中里 哲也

中里薬局の中里です。僕は吉川が好きです。とりわけこの街に住む皆さんが大好きです。生まれも育ちも吉川の僕にとって良いことも嫌なことも全部この街にあります。これからもいろいろなことが一緒にこの街で笑って生きていければ良いなと思います。その為に今出来る最大限のことを皆さんと一緒に考えたいと思います。今後ともよろしくお願ひいたします。



理事 青年部長 西山 翔馬

【Yoshikawa Jazz Night】も初の中止となりました。新体制に代わり、地域振興発展できるように努力してまいりますので、今後とも吉川市商工会青年部を宜しくお願い致します。

おしかわ今昔ストーリー

八坂祭り今昔

吉川市商工会理事 田口 政博



このへんで自分が子供のころの祭りの話をしてみよう。私の子供のころ八坂祭りは7月13日、14日、15日の3日間で行われていた。14日15日は平沼7町会の山車の巡行が華やかに行われていた。きらびやかな衣装で飾った女性たちが先頭に立ち、子供も大人も祭り衣装をまとい、一緒に山車を引く山車の上にはお囃子連が笛太鼓でにぎやかに祭囃子を奏で、小学校高学年の男子が順番に大きな太鼓を叩く。叩きながらあたりを見渡し、お目当ての女子がいれば、ちよつと太鼓のばちで合図を送ったりする。この場所は自分にとっての祭りのメインステージなのだ。この日、平沼地区の小学生たちはみんな午前中の授業でお帰りのなる。もちろん祭りに参加するためだ。地域の大人たちが学校に押し寄せ、早く出を出して来たのかどうかは知らないが、平沼以外の同級生からはこもつらやましがらわれていた。今の学校では祭りだから早退しますなんてことも許されなかった。

何も他に楽しみがなかったわけではないが、とにかく祭りは楽しめで、1年が祭りを中心に回っていた。6月に入るとまつり祭りが楽しみだ。嬉しかったことを思い出している。